

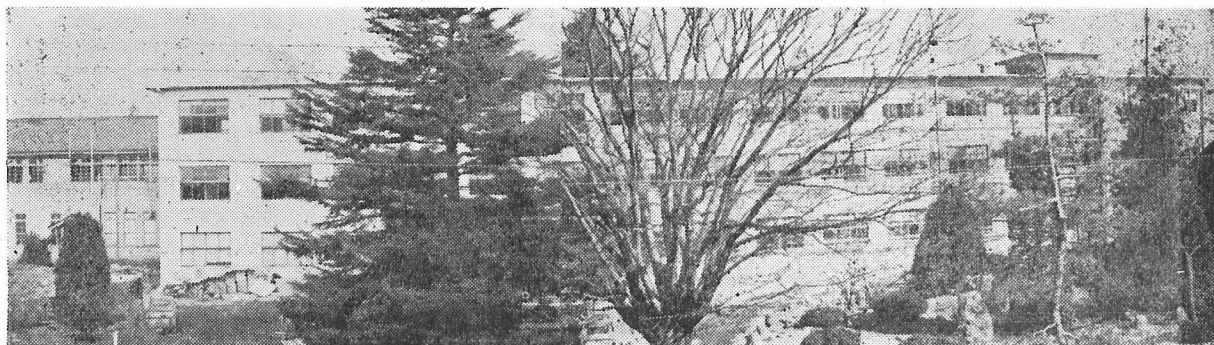
主 な 記 事

高分子化学の進歩	1
合成繊維工業の現状と将来について	2
老化を防ぐ健康法	2
青年実業家緑間武氏	3
蚕糸教育改善問題のその後の状況	4
支会だより	5
会 員 動 静	12

# 千曲会報

No. 162 昭和41年 8月 1日

編集兼発行人 小林 尚 一  
 発行所 社団法人千曲会  
 長野県上田市常入信州大学繊維学部内  
 振替長野 6243・東京43341  
 電話 上田(2)1215(代表)(2)1218(直通)



## 高 分 子 化 学 の 進 歩

——高分子の分子構造と結晶弾性率——

京大教授 桜 田 一 郎

高分子化学の進歩を考える前に高分子化学の最終目標はどこにあるか。進歩ははじめて目標に向かって進むことであるが私は最終目標の一番大きなものは分子の構造と物性との関係を明らかにすることと考える。高分子物性の研究では溶液、特にテーター溶媒が取り扱われている。これから糸状分子が溶液の中で何度かの温度で糸まりのようになっているかなど分子の形すなわち分子の構造と物性との関係がある程度分るようになった。しかし固体の物性と溶液のそれとを結びつけることは難しい、固体の分子構造と物性との関係を1:1で結びつけることは殆んど絶望的である。しかし典型的な固体——結晶について、結晶格子の弾性率（これは機械的性質の根本的なもの）との関係を研究することは有意義である。結晶に単結晶を使ってやることは理想的であるが、現在の所不可能である。しかし繊維とかフィルム中にも結晶性部分があり、その結晶格子のひずみと試料のひずみとが一義的關係にあるという課題が明らかになった。従って分子構造と弾性率と実験的につながりが出てくる。更に幸いなことに IR スペクトルから分子の振動とか、回転に関する知識が得られ、分子ののびやすさが計算できる。結晶領域の結晶弾性率はこの分子ののびやすさに関係している。電子計算機の発展により、ずい分こまかく計算できる。そして我々の実験値と直接比較することができる。これは高分子化学にとって非常な進歩であると考えられる。ナイロンは結晶化処理後の弾性率が随分低く、これがナイロンの用途としての欠点でもあり、長所にもなる。一例えば木綿、スフ等と混紡できない一弾性の大小はこのように繊維の実用的性質と関連している。分子の伸びやすさと繊維の弾性率との関係についてとくに iso-P.P (アイソタクティックポリプロピレン)に興味を感じ測定した。PE (ポリエチレン)、PVA (ポリビニルアルコール)等と異なりヘリックス螺旋構造をとっているからそれ等と違った挙動をするものと考えられた。実際は次のようにした。まず繊維軸方向に力を加えることによって生じた試料の面間隔の変化に伴う角度の変化(数分程度)をX線カウンターで測定し、これより結晶格子の変化を求めた。次に応力—歪関

係曲線より結晶格子の弾性率を知った。PVAの場合 $\theta$ -S曲線は(応力—歪曲線)5200kg/cm<sup>2</sup>までほぼ直線でありEe=225×10<sup>4</sup>kg/cm<sup>2</sup>であった。ポリエチレンの場合Ee=240×10<sup>4</sup>kg/cm<sup>2</sup>であった。この値は結晶が均一に分布している時の結晶格子の歪と考えてきた。そして実際上試料の弾性率が異なり小角散乱測定の結果より微細構造が異なっていると考えられる数種の試料すなはちスタフレン、X線照射後良く配向させた試料を含む高密度PE及び低密度PEのEeは全て240×10<sup>4</sup>であった。PVAでもホルマル化物とそうでないもので同一のEeを得た。更に宮沢のPEの計算値269×10<sup>4</sup>とも良く一致した。側鎖の置換したポリビニルピロリドンでも平面ジグザクでありEeは大体PEと同じである側鎖の影響はない主鎖中に酸素の入ったポリテトラヒドロフランは従来平面ジグザク鎖とされてきた。しかしこれから推測されるEeより実測値は低く55×10<sup>4</sup>である。平面ジグザクからのずれを示している。この点今後の検討を要する興味ある点である。3,1-ヘリックス構造を有するiso-P.PポリブテンP.S(ポリスチレン)の場合大体同じEe=2×10<sup>4</sup>であった。宮沢らの値29×10<sup>4</sup>とよく一致する。その他ポリエステルはEe=76×10<sup>4</sup>でTreloerの計算値126×10<sup>4</sup>に近い。ポリテトラフルオロエチレンEe=156×10<sup>4</sup>であった。ナイロンの $\gamma$ 型はEe=1.9×10<sup>4</sup>で $\alpha$ 型はPEの1/15であった。セルロースは水のあるなしによらず一定でEe=130×10<sup>4</sup>であった。ポリエチレンオキシベンゾエイトは試料と結晶格子の伸びの値は全く同じで、これより弾性率の高い繊維はできない。最後に分子間力に相当するものを知るため結晶の横方向の弾性率を測定した。PV Aフィルムについて熱処理条件などを変えて行っている試料でも同じ弾性率を得た。分子鎖方向のそれに対して仮定したと同じ模型が成立すると思われる。このデータからPVA結晶に対するBunn及び桜田のモデルを検討してみると、桜田のモデルで良く説明できることが判った。一本の分子の性質の研究から出発し、高分子結晶の構造の解析も可能となった。(文責・松沢研究室)

## 合成繊維工業の現状と将来について

— ポパール・ビニロン工業の発展 —

倉敷レイヨン社長 大原 総一郎

一つの工業が確立するまでにどのような経過をするか、ビニロンの工業化の自分の体験から述べる。ビニロンはHerrmannとHaehnelによって発見された。そのときPVAはどのような工業的価値があるかといわれた。彼等はさまざまな努力をし繊維の糊剤などに使えることを見出した。しかし大きな工業的に意義はなかった。Syntfilが水溶性繊維として作られたがこれも大きな意義はなかった。昭和14年京大桜田研究室と鐘紡で現存のビニロンのものが発表された。当時第二次大戦の前夜であったが、このビニロンは原料より成品まで国内で自給できた。国内でも合繊研究協会ができた。しかし余り発展しなかったのは当時の軍需優先下の為と考えられる。これが米国のナイロンが大戦中に発展したのと異なる点である。アセチレンから一貫した工業としてやりたいのが念願であった。こうして倉敷レイヨンの研究所のなかにPVA（ポリビニルアルコール）とビニロンの試験室ができた。しかし戦争は技術者を悉くうばい、溶接工でさえ臨時養成工を使わねばならなかった。それがためにアセチレンガスが爆発し研究室は全滅した。再建は鉄鋳の配給すら十分でなかった当時の時勢からは難しかったが航空機用耐油剤としてPVAだけを再建することができた。その後岡山工場は空襲により全滅し、我国の合繊界は戦前の場々〜の生産量で終戦を向えた。戦後スフの欠点を補う意味で再びビニロンが着目されたが占領軍に岡山工場は接収されていたので、倉敷工場でアセチレンからビニロンまで日産100kgの試験工場が出来、ビニロン、という名を得てここに再出発することになった。昭和23年5月であった。と同時にアミラン等の合成繊維の復活がさげられた。24年ビニロン製品の第1回展示会が開かれ、日

本の工業力に希望の目を持って迎えられた。当時倉敷レイヨン、資本金2億5千万円で、工業資金12億4千万円が必要であった。幸い短期運転資金を日銀より融資を受けたが、会社として大変な冒険であった。その他実際に苦勞したのは技術者であったと云えよう。カーバイトの受給地富山にポパール工場が、岡山に紡糸工場が作られ、日産5tの生産が昭和25年開始された。朝鮮事変後日本の立場は転換した。新技術の導入などが盛んになりビニロンも他の繊維と競争するに至った。ナイロン、アクリル等外国でも作られていたので技術者は参考にすることが出来たがビニロンはそうはいかなかった。朝鮮事変で一時需要があったもののそれが納まるも大量生産されたビニロンは必ずしも良くなかったので売るのが大変であった。その後均一なPVAの合成法が完成し品質的な面は解決された。このように工業は原料に大きな問題があることは今でも云えることである。昭和30年頃繊維業界は戦前に戻り、32年にはテトロン、アクリルが工業化した。又ビニロンも耐久材、工業材料、漁業、農業資材に重点がおかれた、このようにして世界の合成繊維と同レベルになった。しかし友成博士は遂に病にたおれ、恐らくナイロンの発見者カロサーズのような苦しみを受け乍らこの世を去った。もちろん、販売の苦勞も続いた。実際の価値を認めてもらうのは大変であった。現在ようやく順調に販売されるようになった。技術的な面では桜田、呉、友成博士等を含めて多くの人々、又不平をいわずに働いた労働者に感謝する。現在一応完成されたビニロン工業もポリエステル等が販売され新しい時代に入ったといえよう。

## 老 化 を 防 ぐ 健 康 法

久 保 田 昌 人 (77)

私は68才の現在身長170センチ、体重70キロで何の老化現象もなく、若さと健康を誇りとしている。過去をかえりみて人並み以上の病歴の持主で、一病息災があてはまるようである。

30何年前東京に在住当時、85キロの体重があったが、急性虫垂炎を患い、4人の医博の診断の後、東京屈指の外科医の執刀で開腹手術を受けたが、虫垂が正常の位置になく、虫垂を探すのに一時間半もかかったものの、ゆ着だけで、化膿しておらず、別に危険な状態でない、はく離もせず、そのまま縫合されて現在に及んでいるが、腹痛などはない。

日中戦争勃発の翌13年勤務の都合で上海に渡り、越えて14年41才の時風邪から胆のう炎となり、再度リウマチ性関節炎を併発し、四肢の自由を失った。その上38.9度の高熱が10日間も続き、肝炎を懸念され、死線を彷徨したが、主治医の適切な処置で九死に一生を得、39日間の入院加療でどうやら歩けるようになったものの、後遺症として、肩甲骨と上腕部に硬直が残る、腕が上にあがらず、洋服も着れず、この時ほど生涯を通じ病苦を味わい健康を顧ったことはない。ところが服薬では快方に向わず、鍼、灸、マッサージを毎日したが、ききめがなくて、上海の開業医から毎日3カ月程物理療法をうけ、発病後5カ月ほどで全治させたのである。

そこで自分の健康は、自分でつくり、守りぬくという信念

をもつようになり、当時、かくれた健康法指導者横山晶雲氏（日本画家）から、健康法と指圧療法を習得したのである。その後いろいろの健康法に興味をもち、比較研究したが真剣に実行の運びに至らなかった。

戦後体重が60キロまで減ったので、55才を過ぎてから、保健と老化予防のため再度各種の健康法を比較検討し、採長補短の上、独得の健康法を創始して実行を怠らず、毎日朝20分夜5分くらいの5カ年の鍛錬で、体調は40台よりよく、人から驚かれる若さと健康の持ち主となった。要は努力と克己心とによる鍛錬の賜ものと確信している。

健康法には、①心のもち方②食事③運動の三位一体が肝心であることは申すまでもない。

心のもち方は、信仰などにより安心立命の心境になることは望ましい。

食事はつとめて米食を避け、粉食にし、野菜、果物はなるべく生のまま食べ、果物は林檎類、柿、莓などを食べるように心がける。牛乳、卵、豆類、海藻類、小魚類、馬鈴薯、甘藷、玉葱などはたえずとるようにしたいものである。私は過去7、8カ年間に薬局調剤の駆虫薬を二服のんだだけという困保にとっては最優良組員と思っている。

運動法は第一に自然の恵みたる水、空気、日光を十二分に活用することである。

生水(井戸水はそのまま、水道の水は一晩くみおく)は毎朝起きたてに1リットル半(朝食は1時間後)をのみ、日光浴は5分間くらい足膝から下を日にさらすようにし、深呼吸は腹式、胸式呼吸を交互になるべく多くするように心がける

第二は皮膚の鍛練である。毛細血管、末梢神経の刺激には最も合理的と思ひ、毎朝乾いたへちまで、求心的に力一杯摩擦し、ついで皮膚を赤くなるまで平手打ちをし、冷水摩擦を軽く行うのである。

第三に体操である。からだの柔軟性、弾力性、抵抗力を増し、幼児のからだにすることがねらいである。

そこで毎朝生水1リットル半を飲んだあと、頭、頸、腕、胸筋、腹筋、脚の順序で室内で体操する。平素使わない筋肉を柔かにし、胸筋、腹筋を丈夫にし、内臓下垂を防ぐのが目的である。ひきつづいて頭、頸、顔のマッサージ、腹部には指圧を加えると必ずつききたての餅のような柔かい弾力性の腹

になる。その後胸式、深呼吸を3回づつして終る。

特に頭髮にはヘアブラシを百回かければ、白髪になり方もおそく、禿げもしない。

皮膚の鍛練から体操まで20分くらいですむ。夜就床前、頭腕、腰、脚の運動を3、4分実行する。

私の健康法は老若男女すべてに適するが、自分のペースにあったことから始めてだんだんならすことがコツである。

なお寸暇があったら頭、腰の回転をし、手先、足先に振動を与えるようにすれば、さらに健康は増進でき、万年若造、万年新造になること、私の体験から断言できる。

(筆者は久保田式健康法普及会長で、長野県丸子町長瀬区在住、本文はオリンピックの後故河野一郎の発案で昨年発足した体力づくり国民会議(議長は元厚相古井喜実代議士)の外報国民健康づくり運動協会機関誌11号に掲載された)



### 青年実業家 緑 間 武 氏 (昭23製糸卒)

新装なった繊維工学科の玄関に立派な科標が設えつけられた(写真)これは沖縄関ヶ原石材社長緑間氏の寄贈になるものである。同君は先に繊維機械科にも科標を寄贈している。吾々科内のものは同君の篤志に心から感謝しているのである。同君は

戦争末期に来学(繊維専門)に入学し、当時長距離ランナーとして彼の向うところ敵なしと謳われたスポーツマンであった。在学中学徒動員により出征し、終戦後再入学をして23年卒業した。卒業と同時に愛知県の方に勤務し、間もなく郷里に帰り辛苦独力をもって幾つかの事業を経営し、持ち前の粘り強さを発揮し、今は沖縄経済界にとって重要な実業家としてそのベストメンに入り、その活躍振りはまこと瞠目すべきものがある。氏の性格明朗にして常に人の恩を感じ、先般前早大浜総長が渡沖したのを記念して氏の銅像を独力で沖縄に建立し感謝状を載している。その他多くの篤行を行なって多くの人々から感謝されているのである。また昨年佐藤総理が訪沖の際は沖縄実業家中から選ばれた10人中の1人、しかも最年少者として総理との会談に参加しているのである。

緑間君が現在主幹事業として経営しているのは大理石の発掘加工である。戦後間もなく琉球全島の大理石発掘権を一手におさめ、東京オリンピックの水泳プールの大理石も全部が緑間氏の提供であり、最近では更にその事業内容を拡大し大理石の粉末化に着手し、政府から指定され、今後一ケ年間は(設備の関係上)年産12万5千袋(30kg入)次年度は25万袋、更に44年度は30万袋の生産を計画し、文字どおりうなぎ昇りの増産を政府との間に契約をしており、政策に協力するため日夜闘志を燃して経営に当たっているのである。氏の仕事は大理石の生産が主で粉末化は副産物的であることを知るときその活躍振りの目覚しいことが想像できるのである。この粉末は最初カルゲンと称し家畜飼料、運動会のライン用として3万袋を月産していたものであるが、その純度の高いことは世界有数で(98.8%)人の食料としてもカルシウム源として活用できるものである。私のところではこれを繊維処理に用いるため研究を進めている。また戦後未開発の地沖縄は年間23万屯の砂糖を輸出をしていたのが毎年200万袋から輸入される化学肥料施用のため土壌が強酸性(PH4.5)となり砂糖は勿論、野菜などが全く出来なくなり全島野菜不足となり糖尿病患者が続出し非常に困っていた。この時この粉末大理石の

施用に着目し10アール当り40袋の施用で土壌のPHは6.8にも昇り全く地力を回復して野菜、砂糖類の生産が甦生してきたのである。そこで琉球農協連合会の協力を得てその生産は間に合わず益々増産の必要に迫られているのである。このように極めて短期間に大量生産の具体化のできたことはまことに夢のようだといふは述懐しているのである。これも政府当局知識人、連合会の人々の理解、援助もさることながら自分の撓まざる努力と苦勞が報いられたのだといふは謙譲のうちに感謝の言葉をもらし、それにしても人に信頼されることが如何に大切であるかをつくづくと知ったと述べているのである。

先日私宛にくれた手紙の一節で次のように言っている。「私が今郷里、沖縄で事業に成功し、会社を経営し当地有力な実業家の一人としてたつことができたのは自ら切り開いた成果とは申せ、母校諸先生、友人、知人、の友誼、指導、後援のたまものと深く感銘し、母校でうけた信州の経済思想と謙譲の美德を常に守り続け、営業方針の励ましとして胸にしまっているのであります。人間の力は弱いもの、しかし総力を結集すれば千となり、万となり得ることを改めて悟り、如何なることも勇断と誠意をもって事にあたれば苦勞も一掃することができ、そして人間の最大の幸福は母校、校友、知友と相和し、更に家庭相和してこそ生まれるもの。これこそ生き甲斐のある事であり、事業上では競走することはあっても努めて仲よくしていきたいと念じています」

この手紙を見て私は暑気にゆだる近頃の大地にアルプスの山々から吹いてくる涼風のような爽快さを感じ、彼が信州で学んだことをいつも胸に休し、この爽涼の気溢るる信州高原の大気を吸って生活した青年時代の心よい体験が自然ににじみ出て来たものと、彼の気魄を秘めたうちにも温厚な姿を想い浮かべるのである。彼の事業はいよいよ軌道にのり発展を続けているが更に有為な青年実業家として伸びて行くことを心に念じ、彼の事業の一端を紹介し、千曲会報の全読者と共に彼の前途を祝福したいのである。

最後に立派な繊維工学科の科標を御寄贈いただいたことに對し科員一同に代り衷心から謝意を表します。

(繊維工学科・荻原清治・41年7月25日記)



## 蚕糸教育改新問題その後の状況

昨年の今頃を中心に、いくたびか、学の内外において論議を戦かわせ、審議を重ねてきた蚕糸教育統改新の問題は、その後どうなっているか？、という質問を卒業生や、業界の人々からしばしばうけるし、とりわけ母校の消息をわが事のように心に懸けておられる同窓生は、ひとしく同じ心境であると思われるので、いつかははっきりしたお答えをしたいのであるが、しかし、これについては大学としてもまだ一般に對し声明できるような段階にはなっていないようである。従って本紙では、近況の概要を報告しご諒承をえたいと思う。

実は大学は、本春から、来年度予算編成に備えて、概算要求を出すべき時期が来ているので、これに関連して、文部省は蚕糸繊維関係大学の学長に、学長は学部長にあて、それぞれ回答を求められた。すなわち「昨年未までに2—3回、蚕糸教育問題について、関係大学の学長、学部長または関係教授らを招集し、文部省の意向を説明し、大学側との意見交換を行って来たが、いまだ決定にいたらない。然し文部省は、できるだけ原案にそって統合実施を考慮してほしい。その後統合に対する大学の方針はいか様に進んでいるか？、文部省は来年度の予算に盛り込みたいので、方針を回答されたい」とのことであった。

これに對し、母校の将来計画委員会（委員長野口新太郎教授）は、すでに慎重に検討して来たことであるが、更に審議を加え、去る6月17日の教官合議にもはかり、あとに述べるような一応の結論をえた。

さてそこで、もう一度文部省の提案のあらましをかいつまんでみると「蚕糸業は現在、日本のみならず、世界的に特殊な重要な産業であって、その研究教育、後継者の養成は極めて肝要である。その教育機関は、現時点からみて、工学部化しつつある三繊維関係学部門に散在させたさせたのでは貧小となるおそれがあるので、設備の強化拡充のためにも蚕糸の

一貫教育を一大学において行うのがよく、そのためには、生糸の製造までは農学とみるべきであるから、農学部の中で充実した学科として結集するのがよい、統合した教育機関をどこにおくかは、当事者間でよく検討するのがよい」ということであった。これに對して信大繊維学部では「期待される理想的な蚕糸教育が実現できるなら統合してもよい」としてあったし、東京農工大も「できれば絹糸加工学を含めて蚕糸学部がよいのだが、立派なものなら、農学部内の一学科でもよい」ということであった。然し京都の繊維学部は「統合は蚕糸教育を強化させず却って貧弱にさせる故に全面的に不賛成である」という主張を堅持している。従って京都繊維の不参加という一つをとってみても統合時期は尙早であり、その外にも難点がみられるようであり、これらを無視しての統合案は全く不自然のものであるという意見が最近強まっていた。

結論としては、「上田の繊維学部は理想的な蚕糸教育統合計画案には前向きに賛成であるが、今日考えられているような一部統合で一学科を形成するという程度の、理想に程遠い統合案には賛成できない。今後も更に研究を要する」という事で万場意見が一致し、回答を学長に提出してある。

以上の様な状態にあり、良識ある文部省もその後の大学の在り方を考慮したり、蚕糸業を含めて社会全般の諸情勢の変化なども勘案し、総合し、あまり無理な改新を計画したり断行したりはしないと思われる。加えるに長い伝統、歴史、殊に数多くの業績との関係、業界の要望、地方産業との関係などをも無視してまで、特徴あるものを霧散させてしまうようなやり方はあまり賢明であるとは思われない。

然しながら、いづれにしても、上田の繊維学部としては、今後の在り方も大きい課題となっているので、更に慎重に検討を続けねばならない重大問題であろうと考える。

(編集部)

## 花岡孝君の殉職を悼む

花岡孝君（化9卒、興國人絹パルプ富山支社・精製課長）は、去る7月5日勤務中トリクレンによるガス中毒と全身腐蝕のため、不慮の死を遂げられた。赴報に接したもの、そのあまりにも急な、そして悲惨な状況を慮り、驚愕し、長歎息を覆いきれないありさまであった。

事故の事情は次のようだったとのことである。7月5日午前10時半頃、同社パルプ製造工場内にあるパルプ亜硫酸処理筒で、内部タイルに付着したカスをトリクレンによって除去作業中の作業員のうち、筒底の方で作業していた1名が突然倒れ、これを助けに降りた1名も意識を失ってしまった。この事故の知らせを受けた花岡君は直に現場に駆けつけ、その旺盛なる責任感から、兩名救助のため部下の組長と共に敢然として筒底に降りたのであるが、その時既に筒内に充満していたトリクレンガスのため失神し、前者の上に重なって倒れてしまった。近くにいた作業員が直に筒底にある取出口の蓋をあけて救出し、市内の日赤病院に収容して手当を加えたが呼吸困難と、筒底の洗いの表面にたまっていたトリクレンによる全身腐蝕のため、手当のかいもなく、他の3名と共に同日昼近く36才を一期として不帰の客となってしまった。日頃、几帳面で周到な準備の上事に当たっていた同君が、その時に限って何故に殆んど無防備で筒底へ降りられたか、一刻も早く部下の救出をという責任感からとはいえ、悔いて余りあるものがある。

花岡君は上田中学から本校へ入学した頃は、まだ童顔の抜

けきらない少年であった。そのあどけなさを残った彼本来の明朗な性格は、級友との親交を増し、社会へ出てからは、社友、同窓生を問わず、訪れるものへの交情として人望をあつめていた。入学当時は背丈は小さい方であったが、在学中の鍛錬によってめきめき成長し、大器晩成だといわれていた彼会社でも、これから飛躍しようとしていた事だろうと思う。野球部の5番打者として大いに打棒を振うとともに、名一塁手として野手からの難球を捕球していた彼は、自分の部署に於ける重責を果す責任感を自らの義務として、当時から養っていたようにも思える。彼の講義ノートはいつも整然として几帳面な字がきれいに書かれており、怠けものの小生など随分役立たせてもらったものであり、彼からの書状はついこの新年の賀状迄、彼の性格そのままに当時と変らぬ几帳面な字体で丁寧な書かれてあった。

花岡君は卒業と同時に興國人絹パルプに入社し、以来15年一貫して富山工場にあり、同社不況の折会社を去ったものの多い中で、同君は社中での自らの立場を考え、苦慮しつつも社業発展のためその職場を離れることなく、日夜技術研究と部下の指導に当たってきたのであった。人間的にも益々円熟を加え、会社の重責を担って、上役、部下からの信望も厚く、彼本来の真価が愈々発揮されるという時不慮の死を遂げられたことは誠に痛恨この上もないことである。

御遺族は信子夫人と未だ幼い2人の遺児（5才と1才）であり、それ迄至極円満であり可愛い幼児を中に楽しい毎日

を過されていた家庭から、一家の主柱を急に奪われてしまいその御悲歎と今後の御苦勞を察するに誠にお気の毒に堪えませぬ。些かなりとも故人の霊を慰め、遺児養育の資金を募り養育の一助に差上げたいと思います。(学内での恩師、同期生中大阪在住の諸氏、先輩、後輩の数氏から推進方の助言をいただいた。興国人網パルプの方では会社として別個に援助の手を差しおのべているとの連絡もいただいた) 従って別記の

要領で募金を推進したいと思いますので、諸事ご多端のことと存じますが、同期生はもとより、一般千曲会員の方々も何卒御同情ある御力添えをお願い申し上げます。

尚、御遺族は故人の郷里(上田市外青木村村松、花岡豊幸様方)にて、埋葬・供養を済まされた後、夫人の御実家である橋詰武様方(上田市上川原柳町)に身を寄せられることになっております。(昭和41年7月14日・清水滉記)

## 支会だより 神奈川支会総会

初夏の候、本会の皆様御壮健にてご活躍のことと存じます。神奈川支会昭和40年度総会新緑煙る箱根宮ノ下(国家公務員保養所)において去る4月16、17日の両日県下一円30余名の同窓を集めて開催されました。本部より野口、高木両先生の御来駕を賜り厚く御礼申し上げます。総会には高村支会長の挨拶のあと、松崎幹事長の経過報告があり、昭和41年度の役員改選に移り別項の通り決定した。また野口先生より母校および千曲会の近況説明と会費納入状況パーセントの発表があり、あと料理を囲んで懇親会に入った。懇親会では恒例の自己紹介に移り、勤務先や近況、更には会社のPR等々あり、第1次会を終った。第2次会は各自の部屋で語る者、まだまだ飲み足りない口が幹事室に集合して盛大な二次会に移り、旧交を温めるもの、甲論乙駁するもの、先生を囲んで意見の交換を行うもの、寮歌を合唱するものなど夜の更けるのも忘れて青春に返ったような活況を呈し箱根

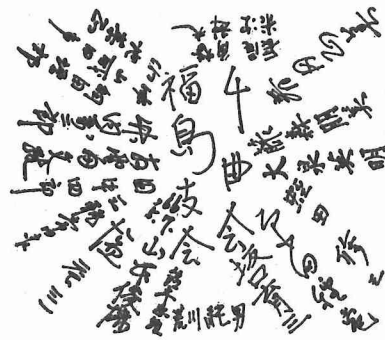


の山もゆらぐかと思えた。翌朝は箱根満山の桜も花吹雪と化し、さわやかな新緑をバックに記念撮影等を行った。本年の参加者は製糸科第1回卒業の伊藤鏡氏、田中一男氏の大先輩をはじめ、本年社会に出た石黒善夫君まで、各界の中堅、ベテランの方々が参集され大変有意義であった。本年何かの都合で心ならずも参加できなかった同窓各位におかれては来年の神奈川支会総会に是非ともご参加いただき、春宵美酒を酌んで青春に立ち返りまた若い諸君は先輩の意見を大いに叩くことも意義深いことと思う。同窓各位の御健康と御発展を祈ります。

支会役員一支会長高橋英(糸21) 幹事石塚敏夫(糸35) 青木喜平(学糸4) 長畑茂(学糸8)

## 福島支会総会開催

此の報告記事が千曲会報に掲載されるときは季節に可成の差があると思いますが当福島支会の表記総会を去る5月7日(土)に郡山市開成山熱田家旅館を会場に盛大に開催致しました。本部よりお



繰り合せを願って且つ遠方坂口育三先生が御出席下さいました。当郡山市は新産都市決定以来工場誘致並に市街開発に実に活発に動き総てに活気溢れる様子が見受けられます。此の会場周辺の開成山も総合グラウンド、遊園施設等目下巨費を投じて急ピッチに工事を進めて居る様です。総会当日は少々曇り勝の天候であったが藤の花も紫色にようやく咲き初めた晩春から初夏へのおひが一杯の静かな日でした。当日御参集の数は支会々員全数からは三分の一前後の数ではあるが最近学校を卒業された方々が数人も出席され坂口先生から直接教養を受けられた若い諸氏は先生を囲み特に親しく何かと懇談され会場の雰囲気も自然と活気に満ち溢れ賑わいをいやが上に上げてくれました。議事の内特に報告しておく事は今迄当支会副会長の叶沢弘氏が4月1日附で勤務会社三菱電気の仙台支店の方に御栄転々出の為新たに田中四郎氏が万場一致で当支会副会長に決定致しました。尚吾が福島支会総会を福島市と郡山市と交互一年おきに会場を持つ事になって居り、その都度出席者のより多からん事を願って次第です。出席者はサインの通り。

## 上小支会総会記

6月11日母校千曲会館において久々の上小支会総会が開催された。この開催は5月28日上小支会幹事会において決定したもので、400余通の案内状を会員に送ったが丁度初夏多忙の真最中各方面とも

猫の手もほしいという時期で出席は少かった。又時々顔を合わせる地元での開催は変りばえもしないということもあってか53名という少い出席であった。然し今回支会連絡所が強化されたので今後は上小支会も活気を呈することと期待している支会総会は倉沢秀一幹事の円滑な司会によって内容的には頗る盛会であった。箱山支会長の挨拶に始まり、つづいて望月昭雄幹事より庶務会計報告があり承認された。山口理事長から母校の近況および本会の総会において理事会に一任された事項の処理状況について報告があった。次に本会顧問初代理事長であった蒲生俊興先生から所感が述べられた。学部前身第1回卒業の大先輩として当時の専門学校として格調高かった内容を称賛し、又バイオニヤ精神をとかれ、当時県および上田市の学校への力の入れかたが一丸となっていたことお話された。明治、大正も遠くなりけりというがノスタルジアではなく後輩へのこよなき訓であった。猪坂直一本会相談役から本会役員構成について統合問題等学部問題に関連して千曲会役員という二重の立場も考え学部内役員と学外役員との数的調整について思索に富んだ所感があった。母袋忠右工門県議会議員から他に会合があり遅れたが上小支会又北信支会内県庁千曲会にも会合の際には出席している。本会員の一段とファイトを以って職域に精進することを望み、手をたづさえて県政の振興を期したい旨挨拶があった。次に田口玲上田市議會議員から上田市会に学部発展に協力するように機会あるごとに力説していると所感を述べられた。

議題の支会運営については本支会とも会員の会費納入が根幹であるから会費集金について本腰を入れ、とりあえず41年度会費から初めることに決定した。次に上小支会役員については明年改選になっているが現在空席である副支会長1名を上小蚕業技術指導長に栄転入の池田俊郎氏をお願いすることに万場の拍手で選任された。池田俊郎氏から就任挨拶があったかくて議事は滞りなく終了し懇親会に移った。今日の出席は大物が多かったが若手組は青年部会を作らなければと酒間に声もあつたが兎に角老若合せて次回の盛会を期し小宮山太助相談役の命命によって蒲生俊興顧問の発声で上小支会万才三唱盛會裡に終了した。

## 糸友会例会

旧制製糸科4期生の年一回の例会を去年に続き5月10日諏訪市南湖荘で催した出席者は左記6名で色々の都合で不参加者が4名あり特に正月早々今井哀君の急逝に依り失った事は詢に残念であったが、当日は幸い快晴に恵まれたので大いに意気あがり嘗ての悪童に返り大変愉快に過ごした。特に老年の事故風采は変わったが長い年輪の刻みは人間的の成長をとげ、話題も多く内容も仲々味い多くなごりも尽きなかったが翌日明春の再会を約し、同窓各位の健勝を祈って散会した。

出席者＝須田国助、小湊潔、山口正明、吉沢武夫、青木永次郎、小山久一。

## 糸 16 春 の 会

幹事群馬と言う事で春の会の招集状が3月20日付で届いた。当然参加することと思つてK君電話すると「狭心症で3カ月寝てな一もう大丈夫。しかしこの土曜は結婚式に出ねばならんで誠に残念だが」と言う返事。Yも「諏訪の会にも欠席したので是非皆の顔を見たいが結婚式の約束があるので欠席する」Bからの電話で「Tは関係会社の役員会で出られない由だが私は他を廻って間に合う様に行く」と言う。東京からは遂に馬場君と西田の2人になった。岡谷から宮坂君が参会地元の杉山、庭野、黒沢の3人と計6名。先年林貞三先生を迎えた伊香保の木暮旅館に会す。学校を出て満36年、どの顔も懐しく夫々苦勞を重ねて来た味はいつ迄も見あきない。6枚の寄せ書を書いて1枚宛記念に持って帰る事にする。



福島の竹内万二郎、岡谷の由井千幸、笠島金治郎、長野の永井俊郎、上田の中島暹、軽井沢の星野拓弘、丹後の斎藤監君等から夫々便りくれた。思いもゆかず熊本の中野保忠君から元気な書面に接して久方に噂し合った。金の出来たのか皆肥って温泉の湯がなくなりはないかとやせた方から声があったりして実に楽しい。翌日は朝飯を抜きにして車をかりゴルフ場の所からブロッグ砂採集所(見渡す限り掘り荒されて壮観)を折れ途中停車してツクシを摘み、第16番在所水沢観音に詣で、折柄満開の桜の下で有名な舟池のウドンと言うのに入る。文字通り

舌鼓を打つ。まるでいかの刺身を食べる様な塩梅、生れて60年こんなうまいのは食べたことがない。次の会は幹事を東京で引き受けることにして散会した。

(西田記)

## 第7回紡3同級会の記

第6回の同級会は僕が幹事で昨年3月鹿教湯温泉で行い、その席上次回の幹事は宮本君、会場は熱海と決定した。その開催の動きは既に宮本君よりの年賀状に表われ「何時頃やったらよいか意見を聞き度い」と書添えてあった。然し未だ間があると思ったので、相当長い間放置してから「先生商売の関係上、出来るなら3月下旬を希望する」と返事を出した。それに対して少し間を置いて宮本君から「浜君、碓氷君は時期に条件なく賛成、小松君は夫人の健康上から4月を希望、それで4月に開催したい。碓氷君は夫人同伴出来ない」との返信があり、僕から折返し「4月でも差支なし」との返事を出した。すると宮本君から詳細のスケジュールを記して4月10、11日開催との正式の通知状に接した。



日取りが決定すると子供のように待ち焦れるようになった。待つ日は来た。4月10日曇天の8時44分上田発の急行電車第2信州号に妻と共に乗車する。上野着12時28分、国電で東京駅へ出て1時30分発の急行電車第2なにわに乗る。熱海着3時6分、指示された旅館一条荘に至るこの旅館は千葉県公務員保養所で泊賃の高いと云われる熱海に対し宮本君の特別の配慮によるものである。既に浜君夫婦、宮本君夫婦と令嬢、小松君夫婦は到着していた。間もなく浜君の次男氏とその子息及び親戚の令嬢が来る。一別以来の挨拶を交す。小松君夫人とは実に17年振り、又浜君次男典夫君とは12年振りの対面である。種々懐旧談に花が咲く。碓氷君から「姉危篤行かれぬ」との電報来り全員出席の予定が1名欠けその意義や興味が削減された。碓氷君よりの通知により待つ人はなくなったので直ちに6時半頃懇親会を行う。昨年大いに呑んだ小松君が蕁麻疹とかで1滴も吞まず、浜君は例によりジュース組、呑むのは宮本君と僕丈と云っても話にならぬ程度なので1時間も経つか経たない内に飯

になってしまった。未だ寝るには時間があるので家族別に百万ドル夜景と云われる熱海の町へ散歩に出る。夫婦で歩いている所へヌードスタジオや映画鑑賞の客引人が出て来たり、又ストリートガールにぶつかったりした。こんな物が出現するのは温泉町の特徴とは云え時期外れで余り賑やかでないせいかもしれない。それと同時に日本一の泉都熱海と聞いた程には余り豪華な町には感ぜられなかったのは僕1人の気持だけだったろうか。又旅館の湯船の湯量が豊富とは言えない。

(注ぎ込んでいない)物足りぬ気がした翌11日は朝8時朝食を執り石倉先生、野口教授、碓氷君等に寄せ書を書き、それから各々が持参したカメラで記念撮影をやり合った。9時頃宿を出て浜君は1家5人でハイヤーを頼み別行動で箱根に向い、残り7人は宮本君の勧めに従い実質主義の立場からバスで行く事とし、元箱根行のバスに乗り十国峠へ行く。ケーブルで山頂に登る。曇りの天候はやや晴れて来たが富士山は見えなかった。それでも眺望はさすがに雄大なものである事が伺われた。ここでも小憩の後再びバスに乗り元箱根へ行く。此处で昼食を執り箱根根拠を觀に行く。最初の計画では船で芦の湖を渡り湖尻に出て大湧谷を廻る予定であったが天候が悪くなり寒い上に小松君夫婦の日光行の計画もあって変更し1時発のバスで見事な有料道路経由湯本に出て、1時43分発の小田急特急「はこね」の豪華な電車に乗る。この席指定券の番号がとんでいて別車輦になったので此处で小松君、宮本君と別れの挨拶をする。僕達2人は新宿で国電山手線に乗換え上野へ出て上野発4時50分の急行列車第3信州に乗る。悪天候は上野で雨となり軽井沢では雪降りて真白になっていたのは驚いた。箱根で寒かったのは無理もないと思つた。上田着8時20分で帰宅した。上田はほんの濡らす程度の雨が降っていた丈であった。帰宅後2、3日して熱海からお送りした寄せ書の返事が石倉先生から到着し次のように書かれていた「去る10日熱海的一条荘にクラス会を開催されご二人お揃いでお出掛けの様子、陽春の1日の熱海は次から次へと話のつくる所を知らずという状態であったらうと想像しました。それを思うと私まで楽しさを感じます。思い出を語る人達を思うわれ、老いを忘れて昔なつかし。古いぬれば世の新しさ見るよりは、古きをなずむ楽しさ強く」石倉先生の筆達とご好意には深く感謝の外はありません。

今回のクラス会で幹事を勤めた宮本君のご苦勞は大変なものであったと想像します。厚くお礼を申し上げます。

(香山清和記)

### 本 会 記 事

#### 戸田正行博士日本作物学会賞受賞

日本作物学会第141回講演会(昭和41年度春期大会)は4月3日、4日東京教育大学農学部において開催された。3日総会の後戸田正行博士(織農1回昭22年卒)は「小麦の冷害に関する研究」の業績によって日本作物学会より昭和41年度日本作物学会賞を受賞された。受賞後同博士の記念講演が行われ、全会員の旺んな拍手によってその名誉が祝福された。尙同窓の千曲会員で日本作物学会賞を受賞されたのは戸田博士が最初である。

#### 沓掛久雄氏(蚕19)農林功績賞受賞

4月7日農林省では創設85周年を記念して農林功績者6名を表彰した、蚕糸部門では沓掛久雄博士(鐘淵織維KK常務取締役)が多年蚕品種の改良に従事し多数優良蚕品種を育成し、また家蚕卵の冷蔵、浸酸、保護に関する重要な研究が蚕種製造技術の改善に寄与したので今回の光栄ある農林功績賞を受賞された。

#### 財団法人上田織維科学振興会 研究助成委員会開催

5月13日振興会研究助成委員会開催、会田理事長、北条副理事長、委員田口亮平、具祐吉の各教授、並に坂口助教授出席して研究課題について審査し次の研究担当者に対し昭和41年度研究助成金を交付することに決定した。

- 1, 地すべり地帯河川の水質に関する研究 信州大学教養学部 阿久津伊平
- 2, 耐熱性高分子に関する研究 織維学部織維工業化学科 白井汪芳
- 3, 絹フィブロインの微細構造に関する研究(小角散乱について) 織維学部織維工学科 平林潔
- 4, カイコの胚子培養に関する研究 織維学部織維農学科 小林 勝
- 5, カサンの発育変態に伴う皮膚発生分化に関する研究 織維学部織維農学科 田中一行

なお本年度は学外会員からの申請はなかったが、広く学外若手研究員の申請を希望する。

#### 財団法人上田織維科学振興会 研究会開催

6月6日振興会理事会を開催し次の議事について協議した。

(1)昭和41年度事業について(A)研究助成については5月13日開催の研究助成委員会において審査決定した別記5名の研究課題について助成交付を承認した。(B)学会講演会開催については織維工学科実験研究室竣工及び高分子工業研究所増築落成記念講演会及び今秋開催の中部蚕糸学会講演会に補助成することに決定した。

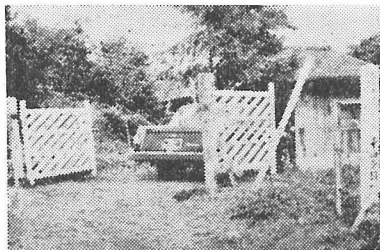
(2)昭和40年度歳入歳出決算については本日さきに開催された監事会の監査報告が竹内善吾監事よりあり本会40年度歳入歳出決算は承認された。

(3)基本財産電信電話債券の抽籤当選により生ずる基本財産の保管については当選の場合は新に電債を購入しそのさい生ずる差金額は基本財産として保管することに決定。

その他、(1)本会事業の表彰の件については今迄全くしなかったが本年は1名位しても良い。学外の表彰は千曲会理事長から推薦があった場合する事に決定。その時更に審議して決定する。

#### 楓 荘 の 利 用 準 備 行 方

千曲会厚生施設楓荘の利用シーズンとなったので清掃整備を行った。7月13日



は町田、白井美明両理事、小山よし子さん、13日、14日の両日は白井要範外3名で本年度は正門を施設し御代町役場観光開発清水室長立会の上、周囲を有針鉄線張りを完了した。これで自動車も乗り入れが出来面目を一新した。会員皆さんの

ご利用をお待ちします。なお利用者は千曲会事務局へ申込み利用券の交付をうけてご利用下さい。すべてセルフサービスで、利用料1人1泊200円、4名の宿泊設備があります。この場合利用料は600円。

#### 香山清和理事交通事故で奇禍

7月10日午後3時香山清和理事(紡3)は上田市南天神町においてバイクとの交通事故により大腿骨折の奇禍にあった全快までには相等の日数がかかる見込みで上田市木町安藤病院に入院治療している誠にお気の毒である、一日も早くご快癒されることをお祈りします。

#### 動 静 部 委 員 会 開 催

6月24日動静部委員会開催、関委員長遠藤理事、押金、篠原、美齊津、小林勝島田、小林倫子の各委員出席し会員動静その後の把握について各学科からの資料が示された。動静移動通知(ハガキ大)を理事事務連絡会に計って千曲会報に挿入すること、その他を協議した。

#### 会 報 編 集 委 員 会 開 催

7月16日編集委員会開催、小林委員長竹田、石川両理事、松沢、平林潔の両委員出席した。平林委員は篠原房江さんの後任として委員をご苦勞願うことになった。八月号第162号編集について協議し、学内教職員の暑中見の広告をお願いすることをきめた。

#### 千 曲 会 費 完 納 者

今回千曲会費通算40回完納された会員は次のとおりである。本会向上発展のため多大のご協力をいただいたことを感謝いたします。

- 蒲生俊興(蚕1・上小)
- 土岡光郎(蚕7・山陽)
- 佐藤 一(紡2・上小)

#### 三先生長寿慶祝記念近く完結

かねて多大のご高配をいただいた3先生長寿慶祝記念会については355名の会員よりご賛同をいただき厚く感謝申し上げます。近く発起人会を開いて3先生に記念資金を贈呈する予定です。

#### 故花岡孝君遺児養育資金募集

興国人絹パルプKK富山支社精製課長花岡孝君(化9回卒)は、昭和41年7月5日勤務中不慮の災難にて、同工場内にて殉死されました。(追悼記参照)前途有為の同君の死を悼み、遺児養育資金を募集いたします。

- 1, 金額 1口500円以上御随意
- 1, 締切 12月末日
- 1, 送金先 上田市常入500 信州大学織維学部  
織維工業化学科 三石賢宛
- 発起人 信州大学織維学部  
織維工業化学科主任 会田源作
- 同期生代表 色川暲, 清水周, 清水澗, 関田章  
三石賢

#### 為 替 の ご 用 は

はやくて たしかな  
富士をご利用下さい

千曲会へのご送金は、当店宛の振替貯金  
口座長野3523が一番ご便利です

#### 上 田 市 原 町

皆様の  富士銀行上田支店

### 母校ニュース

#### 学内人事

中沢昌教授信州大学繊維学へ

群馬大学工業短期大学中沢昌教授は6月1日付信州大学繊維学部配置換、繊維工業化学科有機合成化学講座を担当されることになった。

#### 大安和彬助教発令

奈良県立医科大学大安和彬講師は7月1日付信州大学助教に昇任、繊維学部共通講座応用数学を担当されることになった。

#### 新しく助手になった人

4月1日付次の5氏は新に文部教育助手として採用をされ、信州大学繊維学部勤務、所属は次の通りである。

- 清水 滉 繊維工学化学科会田研究室
- 白井汪芳 " " 北条研究室
- 新井親夫 繊維化学工学科
- 服部博嗣 " "
- 平林 潔 繊維工学科 呉研究室
- 釜沢弘実助教・池田正孝助手栄転

3月31日辞職の数学研究室釜沢弘実助教は4月から幾徳工業高等専門学校教官に栄転、また経済学研究室池田正孝助手は4月から中央大学教官に栄転した。

#### 学科主任決定

41年度各学科主任は千曲会報 No. 161号に掲載したが、一部誤植があったので謹んで次のとおり訂正します。

- 繊維農学科 山口定次郎教授
- 繊維工学科 野口新太郎 "
- 繊維工学化学科 会田 源作 "
- 繊維機械学科 高木 春郎 "
- 繊維化学工学科 黒岩 茂隆 "
- 共通講座 小泉 所 "

#### 補導委員決定

本年度補導委員長は一志淑夫教授に委員は矢木博、久間秀彦、後藤春雄、隅田隆太郎、小山長雄各先生が選任された。

#### 学部改新时期同盟会理事会開催

5月23日母校第1会議室において学部改新时期同盟会理事会を開催した。議事は報告事項(1)昭和40年度収支決算報告(2)現況報告(3)高分子工業研究所の増築工事

について(4)寄附金の申込み済み会社について(5)寄附金年末別納金について(6)各年度の寄附金入金状況について詳細な報告があった。

協議事項(1)役員委嘱は(1)相談役に元外務大臣小坂善太郎代議士、並に帝人K K大屋晋三社長の二名を推薦した。(2)学内の理事については柳沢延房学部長が常務理事に小泉清明前学部長並に各学科主任が理事に委嘱された。(3)取引銀行の追加について、今迄三井、三菱、住友の各銀行、八十二銀行上田支店の4行であったが、富士銀行上田支店、東海銀行名古屋支店の2行を追加した。(4)募金の計画について本年度の計画を1,200万と決定した。(5)改新資金の使用計画について木内四郎会長からかねて募金の計画について支出予算も経上して収支を計画的に実行して事業目的を完遂するよう指令があり企画することになった。(6)高分子工業研究所完成祝賀式の計画について6月13日祝賀式を挙行することに決定し、方法は経費をきりつめ学術講演会に重点をおくことにきまつた。

#### 開学記念日のレクリエーション

6月1日信州大学開学記念日の行事として教職員レクリエーションは2台のロマンスカーで志賀草津高原ルート行きを行った。志賀高原は上信越3国にまたがり横手、笠岳、白根、岩管山、志賀山の山麓一帯24km四方、海拔1500mの高原の総称である。金山新緑に包まれ美しい石楠花の花、俗気を離れた志賀高原熊の湯温泉にひたり、ここ大広間で天の美録でのどを潤し、昼食をすませ限りない自然への思慕に包まれ波峠、白根山、長野原上州三原、鳥居峠をへて一同無事さやかな高原の気を満喫して上田に着いたのは7時近くであった。

#### 今秋日本蚕糸学会中部支部総会開催に決定

6月22日母校において開催の中部蚕糸学会支部委員会は支部長山口定次郎教授外委員参集来る11月1日、2日の両日日本蚕糸学会中部支部総会と研究発表会並に特別講演会を開催することに決定した。


#### 繊維学部学生後援会開催

7月8日母校会議室において学生後援会は本会役員、父兄、学部から学部長、事務長、同部長、各学科主任、補導委員後援会事務局の各氏参集して開催された午前は監事会、理事会が開かれ、午後総会が開催された。議事は(1)昭和40年度決算について、山城正治監事によって監査報告が行われ異議なく40年度決算は可決された。(2)昭和41年度予算について、収支予算額1,918,995円の予算は原案どおり決定した。(3)役員改選について、41年度役員は改選の結果次のとおり選出された。

会長	井沢 喜三 (留任)
副会長	竹島 修一 "
常任理事	小山 長雄 "
理事	渡辺 文治 "
"	清水 憲雄 "
"	山口竜泰三門 "
"	小笠原隆三 "
"	関 茂一郎 (新任)
"	太田 豊利 (新任)
監事	近藤 晴夫 "
"	山城 正治 (留任)
"	北沢 潔司 (新任)
"	生島 利作 "

#### 高分子工業研究施設落成式・繊維工学科実験研究室新築落成式挙

高分子工業研究施設第2期工事2階建鉄筋コンクリート延100坪の増築工事は5月竣工、これによって所期計画の318坪の全施設が完成したので3月竣工の延682坪鉄筋3階建繊維工学科実験研究室の新築落成式と一緒に6月13日母校ゼミ研究室で挙行了した。柳沢学部長の挨拶、学部改新时期同盟会柳沢健太郎副会長挨拶、工事報告は信大施設部長渡辺枝官によって行われ、終了後新施設研究室を巡覧しつつは昼食パーティーがあった。午後1時から記念講演会が講堂において改新时期同盟会並に上田繊維科を振興会共催によって開かれ、聴講者で満員盛況であった。演題は本号に掲載のとおり京都大学工学部長桜田一郎教授の高分子化学の進歩と題し、つづいて倉敷レイヨンK K大原総一郎社長の合成繊維工業の現状と将来について講演され盛大に行事は滞りなく終了した。



皆様の百貨店

上田・中央 **ほてい**

### 総合建設工事一式

土木建築アスファルト舗装 設計施工  
上下水道衛生設備工事

長野県上田市大学常入682

株式会社 **宮下組**

TEL(上田)@0271.2071.4034



会 費 領 収

昭和41年度会費500円

清水達太郎	(蚕 1)	千 葉)
大窪 文夫	(糸別 3)	東 京)
中島 文雄	(蚕 9)	熊 本)
伊藤 文男	(蚕 32)	北 信)
黒子 浩	(蚕 31)	近 畿)
大屋 正明	(機 1)	埼 玉)
山浦 道雄	(学化11)	山 陽)
平波 弘	(学化 8)	" )
藤本 斎	(紡 8)	" )
菊地 六郎	(蚕 27)	" )
中島 義一	(紡 26)	" )
虫明 聡夫	(紡 20)	" )
藤田六五生	(蚕 25)	" )
岩崎 俊男	(化 2)	" )
渡辺 健二	(糸 28)	" )
塩田秀三郎	(糸 31)	" )
岡本 克巳	(学糸 5)	" )
近藤 義和	(学化 1)	" )
羽村 信人	(化 3)	" )
中沢 孝	(学化 6)	" )
那須野昭文	(化 7)	" )
西岡 寛	(学化14)	" )
藤井富美男	(紡 8)	東 京)
早田 充利	(紡 17)	北九州)
倉沢 秀一	(蚕 30)	上 小)
秋山 昭夫	(化 6)	化佐久)
工藤 実司	(蚕 19)	上 小)
茅野 功	(蚕 19)	" )
山辺 好徳	(学蚕 5)	" )
関 幸平	(蚕 37)	" )
平尾 孝	(蚕 19)	" )
宮島 至	(蚕 23)	" )
金沢 勇	(蚕 17)	" )
太田 和夫	(紡 21)	" )
清水 周	(化 9)	" )
馬場 順一	(蚕 24)	" )
横山 忠夫	(蚕 22)	" )
宮沢喜久男	(学蚕 4)	" )
中沢 喜雄	(蚕 18)	" )
池田 正三	(糸 18)	" )
久保 孝	(学化 2)	" )
牧内 昭二	(農 4)	" )
竹内 恭正	(糸 37)	" )
小林 英亮	(学糸 1)	" )
広瀬 幸男	(蚕 31)	" )
半田 義男	(蚕 22)	" )

昭和41年度会費(残費300円)

寺崎 隆夫	(紡 19)	山 陽)
下田 統夫	(紡 18)	" )
山上 三義	(学化11)	" )
渡田 和也	(学紡10)	" )
大森 武	(農 2)	" )
鈴木 力	(紡 12)	" )
石松 博	(糸 24)	" )

昭和40, 41年度会費1000円

小林 敬明	(学化 6)	兵 庫)
-------	--------	------

松吉 博隆	(	山 陽)
安倍 正純	(	" )
土岡 光郎	(	" )
轟 道彦	(学紡10)	" )
谷 行雄	(化 5)	" )
小泉 幸道	(学紡10)	" )
出穂 稔	(蚕 17)	" )
滝本 寿照	(学化11)	" )
蒲生 俊興	(蚕 1)	上 小)
箱山 住夫	(蚕 26)	" )
山内 一次	(蚕 23)	越 佐)
林 文彦	(紡 25)	東 京)
三沢 正介	(学紡 9)	千 葉)
池田 紘二	(学化11)	近 畿)
久保田哲二郎	(紡 20)	三 重)

昭和40年度会費500円

小林 敬明	(学化 6)	兵 庫)
北条 敬典	(学蚕 2)	安 筑)
永井 干治	(紡 17)	" )
井上 彰久	(紡 1)	神奈川)
松崎 滋	(糸 29)	" )
伊藤 鏡	(糸 1)	" )
石原 六郎	(糸 11)	" )
根岸 市郎	(紡 20)	" )
内藤 則雄	(学糸 7)	" )
長畑 茂	(学糸 8)	" )
好土 泰造	(糸 8)	" )
牧野 弘	(糸 11)	" )
有賀 康人	(糸 14)	" )
中木 武	(糸 17)	" )
萩野 喜次	(糸 17)	" )
太田 正治	(糸 12)	" )
宮城 忠夫	(糸 18)	" )
田口喜一郎	(糸 18)	" )
滋野 文雄	(糸 19)	" )
細井 満	(紡 10)	" )
吉田 義夫	(紡 13)	" )
高橋 英	(糸 21)	" )
高村 弘夫	(糸 29)	" )
石塚 敏夫	(糸 35)	" )
雨宮 育造	(糸 37)	" )
佐久間政志	(糸 37)	" )
山本 和男	(糸 38)	" )
近藤 成敏	(学糸 2)	" )
青木 喜平	(学糸 4)	" )
西沢 厚男	(学紡糸12)	" )
神立 均	(学紡 3)	" )
坂田 義明	(化 7)	" )
小野三枝子	(学糸 7)	" )
牧野徳太郎	(糸 27)	" )
滝沢 徳彦	(学紡 2)	" )
桑原 滋	(学化 6)	" )
清水 彰	(蚕 28)	" )
宮下 利平	(学紡 3)	" )
前田 勝啓	(学化 6)	" )
小幡 裕子	(学化 8)	" )
山本 正秀	(学化 8)	" )
坂井 士	(学紡 8)	" )
小林 茂雄	(学紡 8)	" )

竹内万二郎	(糸 16)	福 島)
田原 盛行	(学蚕 2)	" )
島津 幸久	(糸 36)	" )
松下 紀男	(糸 17)	竜 川)
榊原 清志	(蚕別 3)	" )
市瀬 武藤	(蚕 21)	" )
城下 治男	(蚕別 2)	" )
木下 敦	(蚕別 2)	" )
小島 広彦	(学蚕 7)	" )
筒井 忠夫	(学蚕 2)	" )
長尾 泰次	(蚕 31)	福 島)
中山成四郎	(糸 36)	" )
荒川 純男	(学糸 7)	" )
蛭田 修三	(糸 12)	" )
安部 和	(蚕 13)	" )
原田 種魚	(蚕 9)	" )
中沢 薫	(蚕 14)	" )
山本 俊雄	(学織 14)	" )
角替 越夫	(糸 15)	" )
藤森 明美	(糸 20)	" )
大泉 英明	(織農 2)	" )
柳沢 一郎	(蚕 27)	" )
三瓶常四郎	(蚕 18)	" )
小池 恭正	(蚕 30)	" )
細田 増郎	(糸 30)	" )
田中 勇三	(学織 12)	" )
相野田文雄	(糸 31)	" )
牧野 通夫	(糸 34)	" )
田中 四郎	(糸 19)	" )
春田 正美	(学化 7)	" )
柳沢 晋	(蚕 37)	" )
山崎袈裟信	(学糸 2)	" )
西沢 尉	(糸別 1)	" )
宮沢 矩雄	(紡 21)	京 滋)
小林 博美	(化 3)	" )
池田 忠夫	(化 6)	" )
小林 義定	(化 7)	" )
鹿野 清一	(化 7)	" )
近藤 伸一	(紡 27)	" )
寺西 義雄	(糸 37)	" )
桜井 明知	(学紡 1)	" )
小林 英夫	(学紡 3)	" )
菊川 武	(学化 3)	" )
田中 富男	(学紡 5)	" )
西沢 正純	(学化 5)	" )
小野沢信義	(化 6)	" )
佐々木喜久	(学紡 7)	" )
金沢 重夫	(学化 7)	" )
所 周一	(学紡 9)	" )
鈴木 基泰	(学紡 11)	" )
永井 敏之	(学化 12)	" )

昭和39, 40年度会費800円

高岸 健二	(化 1)	京 滋)
山浦 澄男	(化 9)	" )
室賀 亨	(学紡 2)	" )
池田才八郎	(学紡 5)	" )
柴田 彰三	(学紡 10)	" )
近藤 清一	(紡 11)	" )
吉瀬 重正	(糸 25)	" )

曾山 高祥 (蚕 4 安 筑)	等々力宜要 (糸 22 東 京) 1,200円	田中 秀幸 (学紡 1 " ) 1,100円
堀米 吉美 (糸 35 " )	石堂 直記 (学化 5 近 畿) 1,400円	岡本 功 (学化 6 静 岡) 1,500円
山浦源太郎 (学化 5 " )	牛越 宏 (学紡 11 埼 玉) 1,500円	西田 正 (蚕 21 山 陽) 1,900円
鈴木 忠雄 (蚕 32 福 島)	村田 謙治 (蚕 37 越 佐) 2,000円	上原 教央 (紡 28 静 岡) 1,000円
<b>昭和39年度会費300円</b>		
小池 良介 (糸 36 安 筑)	土屋喜久雄 (蚕 専 北佐久) 3,000円	松田十三子 (養 9 千 葉) 600円
若林 衛 (紡 21 " )	三宅 武夫 (蚕 30 岐 阜) 2,400円	西沢 芳智 (農 2 北佐久) 1,900円
小林 幸雄 (学蚕 10 近 畿)	小島 吉男 (学蚕 11 兵 庫) 1,600円	関谷 孝 (学蚕 1 上 小) 2,500円
<b>昭和41年度会費及未納会費納入者</b>		
佐藤 一 (紡 2 上 小) 3,300円	中尾 彰良 (紡 26 上 小) 1,600円	西沢 正一 (蚕 22 " ) 1,600円
後藤 政之 (紡 2 千 葉) 1,200円	横関 源延 (蚕 20 東 京) 1,300円	滝沢 一男 (学化 7 東 京) 1,200円
	杉本 作藏 (機 1 山 陽) 1,150円	山部金三郎 (蚕 80 岐 阜) 2,000円
	北沢 茂樹 (紡 16 京 滋) 1,100円	松本 一二 (蚕 16 島 根) 1,300円

会 員 動 静

中山 吉二 蚕 12 鹿 児 島	山本興業KK長崎鼻自然公園 々長 (住) 指宿市12町大牟礼 西1086
浅野 清志 蚕 15 安 筑	農林省蚕糸試験場中部支場長 (松本市四ツ谷)
鷹野 貞雄 蚕 20 安 筑	長野県本曾山林高等学校長 (長野県西筑摩郡新開村)
町田 史郎 蚕 20 北 海 道	函館行政監察局 (函館市大手 町5番13号) (住) 函館市千 代ヶ倍町135
池田 俊郎 蚕 21 上 小	長野県上小地方事務所 (上田 市前田町) 上小蚕業技術指導 所長
江口 嘉正 蚕 22 安 筑	農林省蚕糸試験場中部支場品 種部長 (松本市四ツ谷)
手塚 逸郎 蚕 28 上 小	上田市第5中学校 (上田市上 野)
山下 昇 蚕 30 近 畿	農林省和歌山統計調査事務所 御坊出張所 (御坊市島564) (住) 和歌山県日高郡美浜町 田井畑423
宮原 豊 蚕 32 山 梨	郡是製糸KK飯野工場 (山梨 県中巨摩郡白根町)
桜井 芳雄 蚕 38 千 葉	千葉県四街道高等学校 (千葉 県白幡郡四街道町)
窪田 衛二 学蚕 4 安 筑	信州大学理学部化学教室 (松 本市県町) (住) 松本市蟻ヶ 崎中島信大官舎
今村 理則 学蚕 6 竜 川	長野県赤穂高等学校 (駒ヶ根 市赤穂)
服藤 功 学織 10 岐 阜	岐阜県恵那郡岩村町立岩邑中 学校
松山 英之 学織 12 北 信	長水地方事務所内長水蚕業技

石坂 尊雄 大学院 1 北 信	術指導所 (長野県県町) 長野県蚕糸試験場 (長野市岡 田町)
寺田 良 農 3 高 水	長野県須坂岡本高等学校 (須 坂市)
市川 秀郎 農 3 上 小	長野県丸子実業高等学校 (長 野県小県郡丸子町)
湯沢 重敬 糸 9 近 畿	日本輸出工業救済KK (大阪 市浪速区桜川1-1066 (住) 大 阪府吹田市垂水町1-40-116
高橋 誠 糸 13 神奈川	横浜市保土ヶ谷中沢町100
横沢 平 糸 21 近 畿	日本製粉KK (技術顧問) 大 阪工場研究所 (大阪市大正区 平尾町100) (住) 前のとおり
金丸 功 糸 21 東 京	株式会社豊栄建設取締役営業 部長 (東京都世田谷区太子堂 4-29-30の21豊栄会館ビル)
小畑 忠富 糸 26 茨 城	鐘淵織維KK結城工場長 (結 城市結城)
高尾三代治 糸 27 愛 媛	酒六株式会社蚕糸担当工務課 長 (愛媛県八幡浜市五反田1 の15)
市川 忠太 糸 32 近 畿	福井精練加工KK大阪事務所 長 (東京都千代田区4-4日 本染色会館内)
小林小一郎 糸 34 安 筑	農林省長野統計調査事務所松 筑出張所 (松本市島内3572)
佐藤 八郎 糸 34 山 陰	日本レイヨンKK米子工場 (米子市旗ヶ島578)
岡田 薫 学糸 3 茨 城	鐘淵織維KK結城工場 (結城 市結城)
鈴木 竹登 学糸 3 越 佐	新潟県吉川高等学校 (新潟県 中頸城郡柿崎町2区)
岡本 克巳 学糸 5 山 陽	三井石油化学工業KK岩国大 竹工場研究部加研課

海外に飛躍する  
**北野建設株式会社**

取締役社長 北野次登

長野市県町524  
東京都中央区銀座1の5北野ビル  
大阪市北区堂島浜通り1の25新大阪ビル  
松本・高田・ジャカルタ

編 集 室 よ り

暑中の候会員皆様御健勝にておすごしですか、御伺い申し上げます。炎暑のなかで体育練成に励む若ものの競技は壮快である。又都塵をさけて海辺に山荘にエネルギーの蓄積に英気を養うシーズンです。本会厚生施設楓荘も会員憩いの場としてご利用申込みも順調です。明春卒業予定の学生の就職も初っています。前年につつき業界はきびしいようです。然し出来る人は各界とも所望している。各学科とも各位のご支援もあり年末までにはオーケーのようです。充実した親しみ易い会報といたしたいので研究調査、自由潤達な随筆、支会だより等とどしどしお寄せ下さい。

編集委員 小林 尚一、竹田 寛、石川 博  
松沢 秀二、武井 隆三、小笠原真次、平林 潔  
白井 要範